



## 物質化学工学科5年 岡上 大翔

5年前に入学したことが昨日のこのように感じます。

僕が中学生の頃に描いていた将来像は、高専に入学して5年間通い、そして就職するというものでした。しかし高専に入学して経過していく中でその考えは変わり編入することを決めました。春からは大学生活が待っています。クラスメイトの中には僕のように就職から進学へと考えが変わった人もいますかと思えます。その逆に進学から就職へと変えた人も。また、なんとなく高専に入学した人もいます。しかし僕等は皆進路を決めそれぞれの道歩んでいきます。こうして僕等が自分の進路を決め、旅立てるのも保護者、先生の皆様の支えのおかげだと思えます。感謝しています。

そしてクラスメイト諸君。夜な夜な連絡を取り合って忙しかったテスト期間や実験レポートの作成。何気ない放課後の談笑。1度優勝したこともあるスポーツ大会。工場見学。卒業旅行。卒業研究。たくさんの思い出があります。楽しかったことも辛かったことも今となっては「良い」思い出です。このクラスで本当によかったと思えます。感謝しています。

この5年間は感謝の気持ちでいっぱいです。成人を迎えこれからは自立していかなければなりません。この先、道に迷う時があることでしょう。そんな時にこの奈良高専で過ごして出会った仲間、先生が道しるべになってくれると思えます。

期待と不安を胸に僕らは旅立ちます。僕等の今後に幸あれ。ありがとう、そしてさようなら。



5Cクラスメイト達



Are you ready to open a new door?

### 物質化学工学科5年学級担任 伊月 亜有子

5Cのみなさん、卒業おめでとうございます。遊ぶ時は思い切り賑やかに(?)楽しみ、やらなくてはならないときは真面目にやるクラスで、私もこの1年間をみなさんと一緒に充実して過ごすことができました。高専生活で得た経験はもちろんのこと、5年間を一緒に過ごした友達は一生の宝物になります。これから就職や進学等で社会に出て悩むこともあると思います。悩みを相談し合える友達を大切にしてください。



## 専攻科 修了おめでとう

### 機械制御工学専攻2年 浅田 拓斗

本当に長かった高専ライフもついに終わり、私たちはついに『高専マスター』となります。高専は自宅のような暖かみのある本当に心地の良い環境で、いつでも私たちを迎え入れてくれました。そう、それがたとえ深夜であっても・・・研究室にベッドを持ち込む者も現れ、残りの悩みはお風呂だけでした。来年度は何卒、シャワールームの予算を考えてはいただけないでしょうか。専攻科の2年間では、国際学会への参加や他専攻との交流ができ、より広い視野を得ることができました。これらの経験が今後、私たちを支える基盤(基板)となることでしょう。

ご指導くださった先生方、先輩方、そして共に支え合い学んだ仲間たちに心から感謝いたします。本当にありがとうございました。

### 化学工学専攻2年 柴地 功基

目指せ、高専マスター!!!

…はい、ということで学校生活最後のお仕事始めさせていただきます。奈良高専という学校に来て早7年!いろいろなことがありましたよ。一年生、二年生、三年生、四年生、五年生、六年生、七年生と、まあ小学校より長いっていうね、こんな学校他にありますかという話ですよ(笑)。

つらつら本科のことを書くのは五年生に任せて今回は専攻科のことに絞って書こうと思います。なんといっても専攻科のメインは『研究』、これに限りますね!某リケジョの方じゃないですけど再現性を取るのに4ヶ月(実験数は100を有に超えます)かかったことが一番の思い出となりましたね。いろいろありましたが最後は最高の学校生活になったのでよしとしましょう!

終わり良ければ全て良し!!!

### 電子情報工学専攻2年 井上 良太

7年間通った高専とも、お別れの時期がやってきました。高専祭、部活、研究や受験など、いろんな経験をしたなあ、と感慨深くなります。はたして高専マスターになれたのやら?

さて、専攻科の2年間は、多くの時間を学校で過ごしました。研究では、見えないモノを探し求めて、実験装置と向き合い、また結果に満足いかないときは、精一杯運命に抵抗しました。その結果、学会において大変好評をいただくなど、貴重な経験をさせていただきました。専攻科でよかったなと感じています。

彼らは「僕らの場所はここなんだ」と語りかけます。変わる景色に迷う時があっても、ふるさは奈良高専なんだと自信を持って、頑張っていきたいと考えています。



### 専攻科長 押田 至啓

奈良高専専攻科修了おめでとうございます。修了生の皆さんは高専生活を終え、外の世界に踏み出すこととなります。社会では将来に向け確かな技術力、豊かな発想を持った国際的に活躍できる技術者、研究者が必要とされています。まさに皆さんが専攻科で培った多岐にわたる技術力、実践的な開発能力を発揮する場が待ち構えています。持てる力を十分に発揮し活躍することを期待します。いざ、輝かしき未来に向け羽ばたこう。

